

山口県高P連会報

平成27年11月2日発行

15号

発行 山口県公立高等学校PTA連合会

〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館2F

TEL 083-923-4761 FAX 083-923-4785

http://www3.ocn.ne.jp/~kopren E-mail ymgt.koup@etude.ocn.ne.jp

ごあいさつ

山口県公立高等学校PTA連合会

会長 板谷 正



秋冷の候、会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申上げます。平素は山口県公立高等学校PTA連合会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年6月に行われました定期総会におきまして皆様のご承認をいただき、本年度会長を務めさせていただきます板谷と申します。

近年、子どもを取り巻く環境は著しく変化しております。私達親世代が成長してきた時代は社会全体に明確に定められた目標があり、しっかりとルールやマナーを守り指示された事を行う事が正しい生き方とされていましたが、今の子ども達が生きていかなければならぬ情報化社会は、社会が定めた目標は無く、まったく見通しの利かない社会を自身の力で生き抜いていかなければならぬのが現実です。米国の大學生教授は「今の子ども達の65%は、今は存在しない職に就く」と言われておりまます。また英國の大学教授は「今後10年から20年で約47%の仕事が自動化される」と言われております。

この変革の時代に対応するため、これまでの基礎・基本教育に加え、様々な課題を自らが考え行動する、主体的に取り組む姿勢が重要になってしまいます。指示を待つではなく、自らが問題を解決する能力を付けておきることが未来を逞しく生きていくこと

ができる子ども達を社会に送り出していくことに繋がると考えます。私達高P連も子ども達それぞれが課題解決に對して主体的に取り組む學習「アクティブラーニング」の導入に積極的に関わっていきたいと考えております。

また、大学入試制度も5年後より段階的に改革が始まります。これまでの偏差値という一つのモノサシだけで行つてきた知識詰込み型の現入試制度から、基礎的な学力を判定する「達成度テスト」に加え、子ども達それぞれが持つ能力を引き出し、多様な価値観を尊重する実施評価も行われることになります。この入試制度改革を我々親も十分に理解し、教育現場と家庭が一体となり継続的な取組を行つていかなればと思ひます。

またグローバル教育におきましても子ども達に求められる能力は、現状のシステムでは対応しきれないのは明確であり、英語教育の評価項目の追加、また国内で所定のカリキュラムを履修することで国際的に認められた海外の

【臨時総会のお知らせ】

山口県公立高等学校 PTA連合会 臨時総会

(平成29年度中国・四国地区大会山口大会発会)

日時：平成28年2月19日(金) 15時～

会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

平成28年度 第58回中国・四国地区高P連大会 香川大会

日時：平成28年7月15日(金)

会場：アルファあなぶきホール（高松市）

平成28年度 第66回全国高等学校PTA連合会大会 千葉大会

日時：平成28年8月25日(木)、26日(金)

会場：幕張メッセ（千葉市）

【全国高P連賠償責任補償制度の掛け金】について

これは、生徒一人あたり掛け金300円で1億円までの加害補償となっています。全国的に加入校も増えていますが、加害事故も増加傾向にあり、特に300万円以上の重大加害事故が増加しています。

全国高P連では、掛け金の値上げについて検討にはいるとの知らせがありました。

大学への入学資格が取得できる制度である国際バカロレアの指定校も現在の国内35校から200校に増設されると文科省より公表されています。そうなれば当然山口県内にも数校が対象になると思われますので、この案件に対しましても取り組んでいかなければなりません。2年後には山口の地におきまして第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会が開催されます。これから行われる教育制度改革に対応すべく、6月の総会で承認いただきましたアクションプラン「ROAD TO 2020」を私達山口県公立高等学校PTA連合会の明確な活動指針として学校教育、家庭教育、PTA活動の中に活かしていきたいと考えております。会長としましては、まだまだ微力ではありますが、皆様と共に、未来を生き抜く確かな力を付けた子ども達を社会に送り出すことができればと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第57回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会報告

県連副会長 上村 真一

平成27年11月2日



A連合会大会岡山大会が、平成27年7月10日岡山市の岡山市民会館で、「つなごう子育て 結ぼう手と手」～晴れの国からもんげー夢を～の大会テーマの下、盛大に開催されました。

昨年の高知大会は台風襲来により、ドタキャンを余儀なくされた私ですが、一年間、功德を積み重ねた結果でしょうかか今回は参加することが出来ました。

さて、大会報告なのですがその前に、

晴れの国の説明をしましよう。

気象庁の日本気候表によりますと、岡山県の降水量1mm未満の日数は、年間275・9日となつており、これは全国第1位の数字です。ちなみに全国平均は、247・3日とのことであります。つまり、雨の日数が少ない県であることが理解いただけだと思います。つぎに「もんげー」ですが、元々は

岡山弁であり、「すごい」「ものすごい」の意味を示します。某アニメ漫画のキャラクターが発し、一躍全国デビューした言葉です。

以上で大会テーマが理解となつたところで、講演内容の報告に入ります。講師は岡山県立岡山盲学校講師・社会福祉法人岡山県視覚障害者協会理事・竹内昌彦氏が「私の歩んだ道」～見えないから見えたもの～と題して、講演をされました。

氏は、小学校時代に網膜剥離により失明をされたのですが、岡山県立岡山盲学校、東京教育大学教育学部を卒業し、その後、岡山県立岡山盲学校教諭、教頭を務められ、平成17年3月に退職、そして現在に至つておられます。

冒頭に、目が見えないとはどういうことかをお話しさされました。多くの人たちには、目が見えないと聞くと、生活が出来ないのでないかと思われますが、が、目が見えなくても生活はできます。ただ慣れない所に行くのが苦手なだけです。慣れれば自由に生活ができます。慣れれるまで時間がかかるのでイライラせずゆっくり見守つてください。と話されました。

確かに私たちは、目が不自由であることを特別視しがちです。しかし、慣れまで時間がかかるだけだと理解す

れば、接し方も変わつてくることでしょう。

講演の終わりには、いま日本には30万人の視覚障害者がいます。日本の総人口が1億2千万人とする、400人に1人視覚障害者がいることになります。私がその1人であつたことで、残り399人は視覚障害者とならなかつたのではないかでしょう。健常者のあなたの身代わりになつた障害者がいます。彼らのために皆さんに捉えた幸せいの1%を出していただけませんか。そうすれば、幸せの全部を自分のためだけに使い切る人生に比べて、それははるかに打ちのある輝かしい人生になることに気づいてほしい。とのメッセージを発せられました。

私たちは、なんでも当たり前であると思っていることでも、その当たり前なことが困難な人々もいる。そういう方々へ思いをはせ、行動することが必要であると認識をしました。

研究協議では鳥取県立倉吉東高等学校PTAが、「進路指導とPTA」子どもの背を押す育友会、「NPO法人倉吉鴨水館」の設立をめぐつて～と題して、県内全域の浪人生の進学支援を目指し、平成25年1月にNPO法人を立ち上げるまでの取組みを発表、広島県立松永高等学校PTAは、「生徒

指導とPTA」、「忍の一字で見守るPTA」と題して、平成10年前後から10数年間は、年間平均50人の退学者と年間平均200件前後の問題行動が発生する高校となつたが、3点のビジョンを目指し、悪いイメージからの変革に取り組んだ発表を、岡山県立岡山工業高等学校PTAは、「社会貢献活動とPTA」、「保護者・生徒・地域が協力した社会貢献活動」～虹の架け橋プロジェクトを中心として～と題し、東日本大震災被災地支援事業を通じて、被災地の支援と地元商店の活性化を図る活動取組についての発表がなされました。これら3つのPTA活動発表に共通するキーワードは、「社会





進むべき未来へ行動することを感じ奮い立つてほしいとの思いをこめたテーマを定められていました。



第65回全国高等学校PTA連合会大会石手大会報告

第65回全国高等学校PTA連合会大
会岩手大会が、平成27年8月19日から

文文部科学大臣をはじめ多くのご来賓
がご出席されました。

県連副会長 藤井美保子

21日の3日間滝沢市の岩手産業文化センター（アピオ）を主会場に、全国から1万人近くの方が出席し開催されました。

会長は、開会式で「様々な思いや情報に触れ、各自の実践に生かす機会としてほしい」とあります。生を振り返ると、尊敬できる先生の会うことが重要だ。教師の役割は、者に夢を与える事だ。若い人が夢と希望を持ち、志を持つことが一番大切と。米国の教育学者の言葉を引かせていただきます。「The great teacher inspires 偉大な教師は学びの心に火をつける」いるな方法論はあるが、教師の役割はこ

お弁当でした

だ。」と強調されました。「人生を豊かにするのは『夢』であり、そして知の探究である。ものには限界があるが頭で考える事には限りがない。まさに The sky is the limit などである、地球は宇宙のなかのちっぽけな存在、でもその思いは宇宙までつながる。これでを享受できる」と人がしての喜びで

色、PTA活動についての発表がありました。群馬県立前橋西高等学校PTAは「環境整備充実への積極的な取り組み」エアコン導入に向けて」と題して、学校と保護者さらに同窓会が協力体制を組んでより良い環境作りを進めたことの発表を、長野県立松本深心高等学校PTAは「高校教育とPTA」伝統校をサポートするPTA活動

貢献活動」ではないかと感じました。地域に対する、学校、生徒、保護者P.T.Aの活動こそが、子どもたちの描く夢の実現、子どもたちを取り巻く環境整備の向上、更には地域発展に結びつくと認識しました。

は夕刻から、総勢約90名参加の下、山口県教育懇談会が開催されました。校長、PTA役員によるPTA活動の現状、課題、今後の方針等が、グラス片手に熱く熱く協議がなされました。終了時には全体写真を撮り、来るべき8月の全国大会岩手大会での再会を誓いました。

合いました。もつともこのときの熱量により、岩手の地ではじけ飛ぼうとは、まだ誰も予想だにしていなかつたことだと思います。（笑）

最後に、開催県である岡山県の皆さま、参加された多くの皆さま、大変お世話になりました。晴れの国でのハレ

の日に、もんげー経験をさせていただきました事、深く感謝申し上げます。
なお、2年後、第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会は山口県
が開催引受です。この大会が成功裏に終了するよう、今からしっかりと取り組
みましょう。

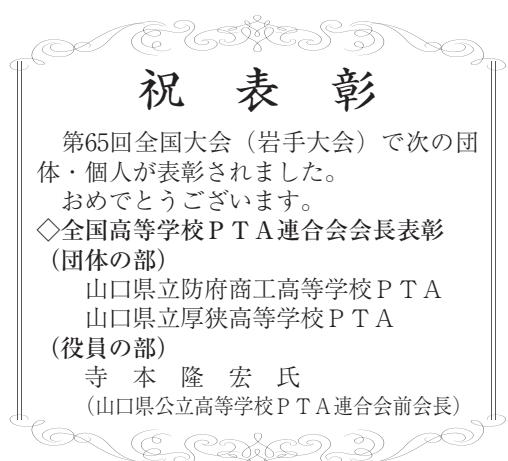
「」と題して来年度140周年を迎える伝統ある同校ならではの事業として卒後後30年50周年のOBが生徒に講義を行われおり、生きたキャリア教育を行っていることの発表を、岐阜県立高山工業高等学校育友会は「観光地域における工業教育とPTA活動」と題して、生徒のものづくり支援についての説明と、生徒が制作した遊具を東日本大震災の被災地の贈る取り組みを、育友会が予算化してサポートしているという発表を、大分県立日出総合高等学校PTAは「豊かな心をもち、たくましく生きる力のある子を育てるPTA」と題して、保護者の参加を促すために、PTA総会を日曜日に開催していることを説明し、本年度は、後日開催している報告会と合わせて保護者の8割が参加したと発表されました。4学校の発表を終え会場からは、保護者の会合への出席を促す工夫や外部との連携についてなど様々な質問があり、共通の悩みとして話し合われました。助言者の岩手県立不來方高等学校平藤淳校長は、「具体的な生徒の成長や活動の成果を見ることで保護者の活動への参加率をあげられるのではないか」と提案。岩手大学教育学部新妻二男学部長は「PTAはわが子だけでなく、地域全体の子どもも視野に入れ行動する団体。大人同士のつながりが強いことが活動の弾みになる」と述べられていました。

大会2日目は、盛岡市出身の映画監督大友啓史氏による「アドリブを生きる力」と題しての記念講演が行われました。大友監督の代表作は、映画「プラチナデーツ」「るろうに剣心」NHK大河ドラマ「龍馬伝」などがあります。演説は、映画製作やドラマ制作の裏側を例にしながら、原稿や資料を見ず、アドリブで講演をされました。「結論やゴールを予め決めて作っていくのではなく、その場その時に何がベストか自分たち（役者・カメラマン・照明・メーク等）で真剣に考えていくこと（これがアドリブ）で、よりクリエイティブな作品ができるいく。柔軟な考えを持つことの大切さ、あたえられた物だけではなく、それ以上のものを成し遂げようとする意識を持つほしい」と述べられ講演を締めくくられました。

今、子供たちを取りまく環境は大きく変化している時代です。アドリブ力は、子供たちはもちろんのこと私たち大人にこそ必要なのではないかと強く感じました。

この度の大会で、全体を通して、共通して感じたこと、それは「子供たちはまだ知らないことが多いのに、ひとつ夢に挫折したら、未来を諦めてしまふ。夢はひとつではない。挫折したらまた立ち上がりれば良い」という点でした。高校生活という、未来を大きく左

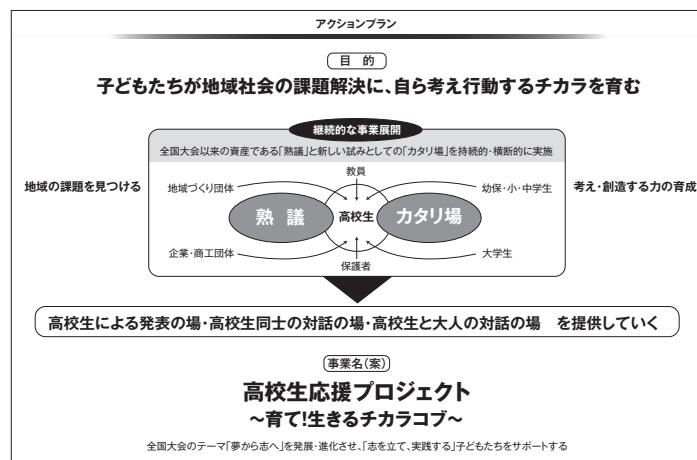
右する大事な時期だからこそ、子供の心は大きく揺れ動きます。その中で、子供が壁にぶつかっても、前に進めるように支えること、それが保護者の大きな役割だと再認識しました。未来の可能性は無限大ですが、その可能性を広げるのも、狭めるのも、その子供の心次第であり、更にはそれを支える環境の整備作りが保護者の役割なのではと思います。すべては未来を担う子供たちのために、良き教育のために、大人の私たちも日々精進していきたいと存ります。



平成28年度 主要行事予定		
月	日	行 事
5	27	第1回常任委員会（やまぐちリフレッシュパーク）
6	3	山口県高P連総会（ホテルかめ福）
7	15 22	第58回中国・四国地区高P連大会香川大会 第2回常任委員会（やまぐちリフレッシュパーク）
8	25~26	第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会
9	9	第3回常任委員会（やまぐちリフレッシュパーク）
H29.2	17	第4回常任委員会（やまぐちリフレッシュパーク）

なお、総会では次の議案が可決承認されました。

- 平成 26 年度事業報告並びに収支決算
- 平成 27 年度事業計画並びに予算案
- 平成 26 年度見舞金収支決算
- 平成 27 年度見舞金收支予算案
- 平成 26 年度研究討議基金収支決算
- 平成 27 年度研究討議基金収支予算案



山口県高P連組織の概要

【名構成】	山口県公立高等学校PTA連合会 山口県内の公立高等学校PTAをもって組織 全日制・県立51校、市立1校、分校7校の計59校 定時制・県立13校、市立1校の計14校
【目的】	各単位PTA相互の連絡提携を図り、相協力して高等学校PTAの発展と教育の振興を図る。
【主な事業】	1 各単位PTA間の連絡提携（委員会、総会、地区別研究・連絡協議会等） 2 高校教育の振興に関する調査研究（全高P連と連携～アンケート調査等） 3 文教政策への建議と意見の公表（全国、中・四国大会での協議、要望書等） 4 教育、行政機関・教育諸団体との連携（諸大会参加、事業への協力・後援等）
【機関】	総会（年1回、6月開催） 常任委員会（年5回、5・7・9・2・5月）
【役員】	平成27年度 顧問 寺本 隆宏（前県PTA連合会会長）新任 会長 板谷 正（下関商業高校PTA会長）新任 副会長 藤井美保子（熊毛北高校PTA会長）新任 白木 美和（西京高校PTA会長）留任 上村 真一（大津洋洋高校PTA会長）留任 吉本 晃（山口中央高校校長）新任 監事 八橋 秀治（厚狭高校PTA会長）再任 藤井 徹（山口農業高校PTA会長）新任 幹事 田熊 直樹（山口高校教頭）留任 池田 雅一（山口中央高校事務長）留任 常任委員 岩国地区PTA会長 成夫（岩国工業） 校 長 原迫（岩国） 柳井地区PTA会長 福奈（柳井商工） 校 長 月林（柳井） 周南地区PTA会長 小瀬（柳井山） 校 長 林邊（柳井山） 山防地区PTA会長 福田（山口中央府） 校 長 田浦（山口中央府） 長南地区PTA会長 地月（宇野） 校 長 田本（宇野） 下関地区PTA会長 月田（豊田） 校 長 岩崎（豊田） 長北地区PTA会長 方藤（下関） 校 長 本嶋（下関） 公立高等学校長会会長 藤本（山口） 会長所属校校長 屋村（山口） 公立高等学校事務長部会長 春修（山口農業）
【事務局】	山口市大手町2番18号 山口県教育会館2F (TEL : 083-923-4761, FAX : 083-923-4785) 事務局長 久芳 善人 事務職員 清水 典子 事務局次長 山本 貴司

大変お疲れ様でした。
なお、総会後の会長会議、これに続
く教育懇談会では昨年同様多くの会員
の皆さんに出席をいただき会員同士親
しく意見交換を深めることができまし
た。

若片橋林中原伊高小吉石松衛山財大横渡時近
狭山本 桐田藤松栗村田岡藤本満堀田辺枝藤
雅直浩祐稔 知秀文一公 純浩謙泰範明雅康
一 太
章之志郎彦茂子樹男正男尚子二郎一幸彦之夫
下長豊西田美小宇宇宇宇山山防防南新徳華
関 野野部部部口府府陽南
西府浦市部称工田業業央部德口工西業陽山陵
佐

6月5日(金) ホテルニュータナカで開催されました。これから山口県高P連の活動方針として「アクションプランROAD TO 2020」について寺本顧問から説明があり、2020年度までの活動計画が決定されました。また、別掲にある文部科学大臣補佐官 鈴木寛氏による講演がありました。

第68回山口県高P連総会

総会では次の方が教育長表彰・会長表彰を受賞されました。（敬称略）
教育長表彰受賞者

刈鍵宮寺
屋本本本
健憲研隆
史治治宏
山周岩
口防國
中大坂
央島國
上

西室新森
中本岡
道富一
忍義雄
奈下厚
古閔中等
古商業狹

会長表彰受賞者
鬼安岡野
武野村村
輝政欣浩
明行昌昭
下光一(岩国工業)
光
松丘

安中 岡野 克貴 昌広
(下関中央工業)

研究討議會研修報告

日 時：8月7日(金) 13:00～17:00
場 所：山口県健康づくりセンター 多目的ホール
参加者：115名（県P連小中学校保護者10名含む）
主 催：山口県立岩国工業高等学校 PTA

「轟かう志ぐ」を形に…
子じも達が踏み出すために子じも達
の心に火を灯すには…

第1部 基調講演

演題 保護者は高校生の心に火を灯す

ため、どう行動する? [

講演者 NPO法人力タリバ

力タリ場事業部

今村
亮氏

講演內容

* 今どきの高校生の3人に2人は「自分はダメな人間だ」と思っている。「自分は人並みの能力がある」と思っている高校生は約半数。

↓ “高校生との関係づくり”をどうするかが、ムニラガカカツリヒー果直

○高校生との関係づくりのヒント
* 「タテ」の関係…先生、親は普
るかか
利かせかかかれいたり

支えてくれる、注意する、教えてく

れる。

* 「ナナメ」の関係・本音を言つたり、
んたり話をする。

「アーティスト」の關係・立場を語りたい

の存在。

○「カタリ場の実際」
親でも先生でもない学校の友達でもない憧れの先輩との関係性＝「ナナメの関係」

者や親族が
どんな仕事
をしていま

者や親族がどんな仕事をしているか、どう生き方をしているか。↓家計への

進学の費用 に責任感を

A black and white photograph showing a large assembly of individuals in white lab coats, possibly students or scientists, gathered around long tables in a large hall. They appear to be participating in a competition or a formal event, as evidenced by the numbered placards on the tables and the organized seating arrangement. The room has a modern architectural style with a prominent slatted wall in the background.

○高校生の発するサインとは

* 高校生が興味を持つ趣味は変化し続けており、大人には分からぬ趣味を持つて仲間とながつてゐる。

*身につけるものについても一見して
わからぬが何らかの意味があり、

*スマホの「LINEタイムライン」で仲間同士とつながり、サインを出

している。

↓ツイッター、インスタグラム、ソーシャルメディア、待ち受け画面、アカウント名にも自分なりの世界観、サインがある。心の火をともせるように、発しにくいやサインを否定せず、受け止め支えることが大切

◆重要なのは、「タテ」、「ヨコ」、「ナメ」、多様な支えがあること

※まず「タテ」の関係が中心軸にあつて、次に「ヨコ」の関係がひろがり、

これらの存在を前提として「ナナメ」の関係があり、「ナナメ」の関係も生きてくる。

第2部 「熟議」

(ワールド・カフエ方式)



主管校の岩国工業高等学

校PTAを中心に岩国地区各単Pのみな

さんがファシリテーターと

してグループワーク進めていきました。

「熟議」は参

加者全員が必ず自分の意見を発表でき、全員がその場の思いを共有し建設的な意見にまとめていきます。各単Pでもこれを活用すると、実りある会合ができると思います。今回の進め方と複数の人に支持された意見記載しておきます。参考にしていただけます。詳細の問い合わせは高P連事務局までお願いします。

○第1回目グループワーク

テーマ1 「保護者が高校生の心に火を

灯すとはどんなことをイメージするか」について黄色いカードに意見を書いてグループ内で発表。
順に自分の意見を説明しカードを模造紙に貼付する。他の人で同様の意見の場合、発言し模造紙に同じ場所に貼る。↓特に大切なポイントにマーカーで印をつける。

○第2回目グループワーク

・ファシリテーター1人をグループに残して、全員が他のテーブルに自由に移動する。

それぞれのファシリテーターは移動してきた人たち全員に第1回目で出た意見をポイント毎に説明する。

テーマ2 「そのためには保護者や先生はどう行動したらいいか」についてピックのカードに意見を書いて、1回目と同様にポイントを選ぶ。

○第3回目グループワーク (最後にグループ意見まとめ、グループ代表による発表)

・最初のグループに戻って、2回目のワークを踏まえたうえで2回目の

テーマについてさらに討議を深め、整理してポイントとなる意見を選ぶ。

・模造紙をまとめたあと、グループ代表が順に参加者全員にポイントを説明。

◆研究討論会の内容▽

◆テーマ1で、あなたの灯せる心の火とは?

◆テーマ2で、そのためにあなたはどう行動するか?

◎各グループによる討議で複数の人々に支持された意見見

*今やりたいことが見つかるように

↓目標を決めさせる、夢中になるもの

◆信じて見守る、任せる勇気を持つ

↓何があつても先ず子どもを信じる。

↓社会の先輩としての助言ができる

ようとする。

*子どもが話しやすい環境をつくる↓体験、時間の共有。情報、話題を共有する。

*年中無休の避難場所、戻つてこられる場をつくる↓家庭の役割、居場所をつくる。

*興味関心、冒険心、目標を決めてG

O ↓チャレンジすることを恐れない。

○

・やる気、エネルギーの源が夢につながる。

*頑張っていることを応援してあげる親も一緒になつて困つたときに相談にのる。

・否定しない。認めてあげる。勇気づける。

*PとTが話し合う時間をもっとつく

る

◆テーマ1で、あなたの灯せる心の火とは?

*話を聞く時、目線を同じにする
↓話を聞いて、受け止める。

*他人に必要とされる喜び、褒められることに

↓後ろ向きの子とたくさん会話、人の気持ちを教えたいたい。

◆グループワークの最後に、参加者全員が「一歩踏み出し宣言」今自分ができること」として決意表明を記帳し終了しました。

今回の研修では、参加者一人ひとりが自分の思いをすべて述べた上でお互に意見を共有できる

ようにして欲しかったというご指摘をいただきました。

貴重なご意見が生かせるよう改善していきたいと思います。なお、来年は3地区(東部、中部、西部)で開催することになります。たくさんの方々が皆さんに出席いただき、「熟議」のやり方をこれからPTA活動道具として普及させ、活動の発展についていきたいと思っています。



◆テーマ1で、あなたの灯せる心の火とは?

講演報告

演題 「変化の時代に対応した高校教育、高等教育、その接続の在り方について」

(PTAの皆様へ期待すること)

○日 時 平成27年6月5日（金）
会 場 ホテル「ユータナカ」
(第68回山口県高P連総会)

○講演者 東京大学教授
慶應義塾大学教授
文部科学大臣補佐官
鈴木 寛氏

→これを前提に思考力を身につける段階→探求力、他者をリードしプロジェクトを始動させ先導できる段階
○「我が国の質の高い初等中等（小中学校）教育」のレベルは高い
○高校時代に「書を読み、友や教師と語り、仲間と何かを為す」ということを送ることが難しくなっている原因

現在、我が国の15歳〔高校1年生〕の学力は世界一である。高校生の現状と社会の大きな変化の中で、これから時代にふさわしい学習方法、授業方法など「学びの構成」について改革が進められている。2020年度を目指し「高校教育の改革」「大学教育の改革」「大学入試の改革（高大接続の改革）」の三位一体の改革である。これらの子ども達には特に「主体性」「多様性」「協働性」が求められる。保護者は社会の第一線で働いている実業界の代表として子どもに言い聞かせて欲しいと最後に締めくくられた。

今回の講演内容はつぎのとおりです。

○今は3度目（明治、戦後、現在）の教育の大転換期

○現在どのような能力が求められるのか（どういうプロセスで考え、行っているのか）

正確な「知識」「技能」の習得段階

- 想像力、臨機応変力、並行処理力、人間としての一貫性をもたらす
- 学び続ける力、内省する力、創造的に思考し実践する力をもたらす
- 答えない問題に答えを見出す力をもたらす
- チーム力をもたらす
- 京都大学の特色入試導入
- 九州大学の21世紀プログラム等
- 東京大学も入試制度の改革に取組み
- 東京大学の推薦入試導入
- 深い「思考力」「表現力」「判断力を問う出題、論述式の増加
- AO、推薦入試の活用（高校時代の活動を評価）
- (3) (3) (3) (3)

- 一斉型の授業（講義型）だけでの「知識・技能」の定着率は低い
- これまでの「学びの構成」（現行の学習指導要領が求めているもの）
「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」
- 「知識・技能を活用して課題を解決するためには必要な思考力、判断力、表現力の育成」
- 「主体的に学習に取り組む態度の養成」
- 「主体性・多様性・協働性」
- 主体性とは自分の目標を自分で見いだし、実践する力
- 人の心を感じる力、多様な人々と協働する力をもたらす
- 多様な人々と情報を共有する力をもたらす
- これまでの「学びの構成」（現行の学習指導要領が求めているもの）
「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」
- 「知識・技能を活用して課題を解決するためには必要な思考力、判断力、表現力の育成」
- 「主体的に学習に取り組む態度の養成」
- これから「学びの構成」
- （1）アクティブラーニング（プロジェクトベーストーラーニング）
- （2）論理的思考
- 課題設定・資料調査（※プロジェクトマネジメント）
- 「主体性」「多様性」「協働性」
- 高大接続改革が目指す方向性
- （1）脱丸暗記
- （2）脱マークシート型試験（多支から）
- （3）2000年生まれの15歳女子の半数が100歳まで生きる
- （4）20年後、30年後、2100年まで世界史的には色々なことが起こる
- 何が残り、何が捨てられるのか、パンデリックが起きるのか
- この中で、失敗しても、もう一度立



東京大学教授、慶應義塾大学教授、文部科学大臣補佐官 鈴木 寛 氏

- ・ち上がる力が求められる
- ・明治維新の時、長州ファイブ（長州の5人が世界史をつくったよう）、今の子ども達がその時、世界史をつくるところにいるかもしれない
- ・今の15歳の子ども達が生き残るには、
- 社会の第一線で働いている保護者が子どもに言うべきことは『主体性』『多様性』『協働性』が必要
- 社会の第一線で働いている保護者が子どもに言うべきことは『主体性』『多様性』『協働性』が求められる中で
- ・一緒に仕事をしたい若者に育って欲しい
- ・スキルは身につけていたほうがいい
- *そのためには、親と子で「熟議」をスタートさせるのもよい（縦・横・ナナメの人間関係を使って）

ファシリテーター研修会実施

日 時 7月22日（水） 19:00～21:00
場 所 山口県立岩国工業高等学校
参加者 岩国地区高等学校PTA 35名参加

山口県高P連研究討議研修会（山口県健康づくりセンターで8月7日〔金〕開催）のファシリテーター研修会を実施しました。当日進行役のライフスタイル協同組合の船崎美智子さん、久保田啓子さんの指導のもと、昨年のワールド・カフェ方式より少し進化させたファシリテーター研修会となりました。主管でお世話いただいた岩国工業高等学校PTAをはじめ岩国地区各単Pから35名が参加していただきました。みんなの多くが「熟議」やファシリテーター未経験者ということで、最初、不安な面持ちでしたが、研修が進み終わりの方では不安はしっかり解消されたようです。全員がそれぞれの思いを意見として述べ、受け入れ共有できる「熟議」の持ち方・進め方に、単Pでも是非取り組みたいとの感想もいただきました。



ファシリテーター研修場面

この協議会は小・中・高の連携協力を図る趣旨から企画され、今回は小中P連が当番でした。7月31日（金）に山口県教育会館会議室Ⅰにおいて、教育庁社会教育・文化財課、小中高校長会長、山口県PTA連合会役員及山口県公立高等学校PTA連合会役員の19名が出席し開催されました。

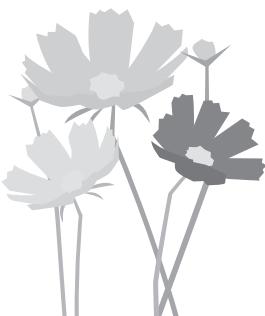
議題「小中高PTA連携の成果と課題について」、高Pと小中Pがそれぞれに期待することについて、熱心な協議が展開されました。

高P連側からは、アクションプランの説明やカタリバ・熟議の取組、研究討議研修会の取組について紹介しました。

小中P連側からは、小中学校におけるコミュニティスクールや地域教育ネットの取組について紹介がありました。

これからも、小学校PTAと中学校PTAおよび高校PTAの縦の連携強化を図る機会を設ける必要があるということ、学校・家庭・地域の連携、協働の取組をさらに充実させていくことを確認することができた有意義な会となりました。

ちなみに、8月7日開催しました高P連研究討議研修会には、小・中学PTAからも出席しています。



**平成27年度
小中高PTA・校長会
連絡協議会開催**

学校紹介

山口県立周防大島高等学校 PTA会長 末廣 均

はじめに

本校の正門を少し登った所に、旧安下庄町の町長である村上恒輔氏の像があります。周防大島高校の生みの親というべき存在である氏は、「郷土の文化はもとより、一国の繁栄は、教育を基礎として築かなければならぬ」という強い信念のもと、当時、全国でも稀な町立の中学校（旧制）設立に尽力されました。

その後、県立安下庄中学校、県立安下庄高校と変遷し、平成19年4月に安下庄高校と久賀高校の統合により周防大島高校が誕生しました。統合してからも、地域の方々からの変わらぬ厚い御支援を受けながら、豊かな自然の下、地域の特徴を生かした特色ある教育活動を開催し、生徒たちは、生き生きと学校生活を送っています。

本校の正門を少し登った所に、旧安下庄町の町長である村上恒輔氏の像があります。周防大島高校の生みの親というべき存在である氏は、「郷土の文化はもとより、一国の繁栄は、教育を基礎として築かなければならぬ」という強い信念のもと、当時、全国でも稀な町立の中学校（旧制）設立に尽力されました。

「郷土おおしま発表大会」では、各学校の周防大島に関する取組の成果を発表し、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいます。また、中高教員による相互交流授業や自学自習教材の共同作成、連携中学3年生が一堂に集う合同学習会、中学校の教員による高校生への中高一貫カウンセリング、高校教員による中学生への進路相談、さらには、ふれあいみかん収穫作業やイングリッシュキャンプなど、様々な取組を中高合同で実施しています。

○「地域創生科」の設置にあわせ、特別進学コースの設置など新しい教育システムを構築

人口減少・少子高齢化が進む周防大島は、一方で、Iターン等による多くの起業家が集まり、週末ごとに様々なイベントが行われる魅力ある島です。

こうした地域の特徴を背景に、これらの島で生きる、島に求められる新

本校の教育活動

○県内唯一の連携型中高一貫教育の取組

新しい産業の担い手を育てる新しい学科として、昨年度、地域創生科を設置しました。

また、普通科においても、特別進学・普通・環境の3つのコースを設けるとともに、教育内容・方法も大幅に見直し、多様化する生徒の興味・関心や希望進路の実現に向けて、きめ細かく指導・支援する体制を整えました。

地域創生科の福祉コースでは、地域の福祉施設と連携した実践的な学習を通して、福祉の分野で地域を創造する人材の育成を、ビジネスコースでは、インターネット上の出店や電子商取引、地域で活躍する人材による実践的



地域創生科福祉コース・福祉専攻科の特浴実習



1年次「子ども夢広場」の企画運営

特別進学コースでは、難関大学への進学をめざし、7限授業や学習合宿などの特別指導を展開しています。環境コースでは、ニホンアワサンゴや里山保護活動など、自然豊かな周防大島をフィールドに探究活動を行っています。このほか、教員の指導のもとで添削答案を完成させ提出する「進研ゼミ高校講座」(全国で3校)や、学び直しを行う「マナトレ」、冷暖房を完備した「自習室」の整備、さらには、全ての普通教室に電子黒板が設置され、一人に一台のタブレットPCで授業を行う最先

端のＩＣＴ環境等も、本校の特色です。県内で唯一全国募集を実施している本校では、こうした本校の教育活動に魅力を感じ、大阪や広島、東京からも生徒が入学しています。

島高の新たなチャレンジ

○平成28年度に「福祉専攻科」を設置

高校卒業者を対象とした2年制の課程を通して、介護福祉士資格を有し、先進的な知識と技術を身につけた人材を育成します。高い国家試験合格率、100%の就職率といった、旧久賀高校福祉科の実績があります。また、県立であるため授業料も安心です。



地域創生科ビジネスコース タチウオを使った商品開発

○「島・学・人プロジェクト～島がすき、学校がすき、そこで生きてる人がすき～」プロジェクト

地元のイベント「安下庄海の市」で、本校生徒による地域貢献活動を展開しています。地元の食材を生かした商品開発の試食会、子どもたちとふれあう

「子ども夢広場」の企画運営、また、ユニクロとコラボして世界中の難民の子どもたちに不用服を届ける「届けよう服のチカラ」プロジェクトや「キレイな海岸フォトコンテスト」の実施など、地域の活性化、そして新たな価値の創造をめざして、生徒と教員、そして地域がまさに一体となつた活動を開っています。

PTAとして

現在、周防大島町は、U.I.Jターンの受け入れ体制を充実させ、周防大島町への定住を促進する取り組みを展開しています。島外の人たちに周防大島の魅力を知つてもらうためには、瑞々しい若者の感性と、物事を突き動かす若者のエネルギーが必要不可欠です。周防大島高校の生徒は、周防大島の未来をも背負っていると言えます。

PTAでは、これらの学校の取組を積極的に支援しており、文化祭では、



PTA 「朝のあいさつ運動」村上恒輔氏の像の横で

なっています。子どもの喜び・教職員の喜び・保護者の喜び・地域の喜びを見つけ共有することを念頭に置き、少子高齢化の進む周防大島において、活気のある周防大島高校をめざしていくたいと念願しております。

PTAコーラス、遊休品バザーなどを行っています。また、生徒の進路実現に貢献したいという思いから、高校3年次生を対象とした「就職試験のための面接練習」を実施しており、最近では、朝のあいさつ運動にも取り組み、保護者・教職員が、生徒とさわやかな朝のあいさつを交わしました。

近年、子どもたちを取り巻く環境は急激に変化し、親として自覚と責任のある子育てが強く求められています。子どもたちが安心して勉強・部活動に取り組めるよう、「すべては子どもたちのために」を合言葉に、教職員・保護者・そして地域の皆さまが一丸と

平成27年度 災害負傷状況

平成27年9月末日現在

種別件数

種別	件数
野球	9
サッカー・フットサル	9
バスケット	10
柔道	1
バレーボール	4
ラグビー	1
テニス	1
ホッケー	
相撲	
陸上	3
ハンドボール	2
その他	7
計	47

傷病見舞金 額別

見舞金	件数	合計額
¥10,000	10	¥100,000
¥20,000	4	¥80,000
¥30,000	1	¥30,000
¥40,000	3	¥120,000
¥50,000	34	¥1,700,000
計	52	¥2,030,000

障害見舞金	件数	合計額
¥100,000	1	¥100,000

香料	件数	合計額
¥30,000	1	¥30,000

各地区別連絡協議会開催日

7 主管校 長北地区 萩高等学校 (8月28日)	6 主管校 下関地区 豊浦高等学校、 響高等学校 (7月4日)	5 主管校 長南地区 小野田高等学校、 宇部西高等学校 (7月3日)	4 主管校 山防地区 山口中央高等学校 (7月17日)	3 主管校 周南地区 柳井高等学校、 柳井商工高等学校 (7月21日)	2 主管校 柳井地区 徳山高等学校、 徳山商工高等学校 (7月27日)	1 主管校 岩国地区 岩国工業高等学校 (6月19日)
--------------------------------------	--	---	---	--	--	---

学校管理下状況件数

発生時	件数
授業	5
部活動	42
上下校	
学校行事	4
その他	3
計	54

部位別件数

部位別	件数
骨折	18
脱臼	2
関節症・関節損傷	4
眼窩骨折	
腱板不全断裂	
アキレス腱断裂	
半月板損傷	9
靭帯損傷	9
靭帯断裂	7
半月板断裂	7
ヘルニア	1
熱中症	
その他	13
計	70

(重複しています。)

地区別連絡協議会、常任委員会から要望事項として、次の提出がありました。
 第59回中国四国地区高等学校PTA連合会大会山口大会について
 キャリアステップアップセミナー事業の継続と充実について
 昨年度の要望事項と併せて要望内容を再検討し、板谷会長から県教育委員会の浅原教育長に「平成28年度予算に対する要望書」として11月4日(水)に提出いたしました。

県教育長へ要望書提出について

全国高P連賠償責任補償制度

☆ 掛金

生徒一人当たり 300円

見舞金給付事業

☆ 傷病見舞金

補償期間 4月1日～翌3月31日

見舞金負担金 全日制 300円

定時制 150円

被保険者

*生徒(日本スポーツ振興センターの決定に基づき給付)

見舞金 (最高5万円)

香料 3万円

*保護者(PTA活動中のみ)

入院見舞金 最高3万円

香料 3万円

☆ 障害見舞金 10万円

☆ 死亡見舞金 10万円

理 birth
リバース
www.yama.tus.ac.jp

私にとつて、
公立はうれしい。



地域産業界の
キーパーソンを育てます。

公立大学法人
山陽小野田市立
山口東京理科大学
YAMAGUCHI TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE
平成28年4月より公立化

工学部
機械工学科 電気工学科 応用化学科

(設置認可申請中)
この計画は現時点(平成27年10月)の予定ですので変更する場合があります。

保険金請求、
忘れていませんか？

今からでも
ご請求できます!!

2015年4月現在の内容です。

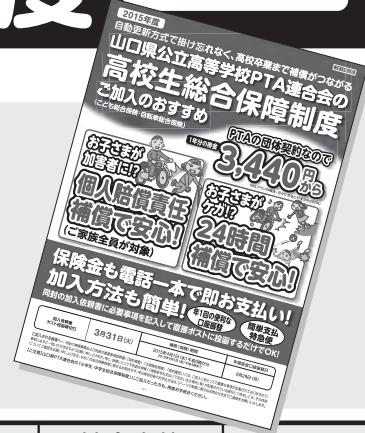
任意加入

山口県公立高等学校PTA連合会 高校生総合保障制度

子ども総合保険
自転車総合保険

大切なお子さまをさまざまな危険からお守りします。

- 学校内外、土・日全てを含む1年365日24時間補償。(学校管理下動産補償を除く)
個人の安全管理のための総合保障制度です。
- 自転車事故でのケガの補償が、すべてのプランで充実しています。
またケガの治療費を実費で補償できるプランが好評です。
- 育英費用補償を増額して補償するオプションが好評です。
- 簡単支払特急便でスピーディなお支払い。ケガで保険金5万円以下なら電話一本で、請求できます。
- 1回の加入手続きで高等学校卒業まで自動更新されます。



個人賠償責任補償	育英費用補償	ケガの医療実費補償	ケガの補償	学校管理下動産補償	被害事故補償	病気の補償
お子さまやそのご家族が、誤って他人にケガをさせてしまったり、他人の物を壊してしまったり、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。 	扶養者の方が事故が原因で、事故の日からその日を含めて180日以内に死亡又は所定の重度後遺障害を負った場合にあ子さまの育英費用として一時金をお支払いします。 	お子さまがケガをして医師の治療を受けた場合に実際に負担した治療費用、医師の指示による差額ベッド代や入退院時の交通費などを補償します。(細菌性食中毒補償を含む。) 	ケガで入院したり、通院した場合の日額補償、所定の手術を受けた場合の手術補償、後遺障害や万一の死亡補償まで幅広く補償します。(熱中症補償、細菌性食中毒補償を含む。) 	学校の授業中、登下校中に、お子さま本人が携行している身の回り品が盗難にあつたり、破損した場合に補償します。 	お子さまが、ひき逃げ事故や誘拐等の犯罪行為により、死亡または所定の重度後遺障害状態になった場合に補償します。 	・病気死亡見舞金 ・疾病入院医療保険金 ・疾病入院療養一時金 ・疾病手術医療保険金 お子さまが補償開始後に発病した病気で1日を超えて入院した場合などに補償します。

*この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校で配付されます。※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。※詳しくはパンフレットをご覧ください。
※上記、補償内容については、主な場合を記載しています。具体的な内容については、下記、「お問合せおよび相談窓口」へお問い合わせください。

お問合せおよび相談窓口

制度内容・加入手続き、事故についてのご相談、住所変更、転校など

お問合せ

0120-714-855
0120-504-551

この広告は制度商品の概要をご案内したもので。詳細は「お問合せおよび相談窓口」までお問い合わせください。

加入者サービス

- ハロー健康相談24
電話による健康・医療・ストレスに関するアドバイスをします。
- セカンドオピニオンアレンジサービス
お子さまの病状・症状にあった相談をお受けします。
- メンタルケアカウンセリングサービス
心の専門家による面談カウンセリングをご提供します。

※上記サービスは、補償期間(保険期間)中、AIU損害保険株式会社がディーベック株式会社に委託してご提供します。

山口県公立高等学校PTA連合会

〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内
TEL 083 (923) 4761 FAX 083 (923) 4785

制度引受保険会社

AIU損害保険株式会社

西日本地域事業本部 広島支店
〒730-0011 広島市中区基町11-10
合人社広島紙屋町ビル2階 TEL 082 (222) 4351
受付時間:午前9:00~午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
(取扱代理店) NOSCOインシュアランスサービス(株)
TEL 082 (228) 1222
受付時間:午前9:00~午後5:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 A-000536 有効期限 2016-03]

各校PTAの会員である

先生方のための補償制度

山口県公立高等学校PTA連合会 教員総合補償制度

主な補償内容 (2015年4月現在の内容です。)

- ① 先生方の職務遂行に起因する法律上の損害賠償金などの補償(施設所有(管理)者賠償責任保険)
- ② 先生方の個人生活に起因する法律上の損害賠償金などの補償(普通損害保険個人賠償責任補償特約)
- ③ 先生方のケガの24時間補償(普通損害保険)

詳しくは下記取扱代理店
フリーダイヤル 0120-084-025
「教員総合補償制度係」までお問い合わせください。

制度引受保険会社 AIU損害保険株式会社 西日本地域事業本部(広島支店)

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル2階 TEL 082 (222) 4351

受付時間:午前9:00~午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く) URL:<http://www.aiu.co.jp>

取扱代理店 NOSCOインシュアランスサービス(株)

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 TEL 0120-084-025

受付時間:午前9:00~午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 A-000524 (2016-03)]